

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 1 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20330151

研究課題名 (和文) ニホンザルとゴリラの生涯発達に関する縦断的な行動研究

研究課題名 (英文) A long-term study on lifetime development in Japanese macaques and gorillas

研究代表者

中道 正之 (NAKAMICHI MASAYUKI)

大阪大学・人間科学研究科・教授

研究者番号：60183886

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・実験心理学

キーワード：ニホンザル、ゴリラ、生涯発達、縦断研究、行動

## 1. 研究計画の概要

勝山ニホンザル集団 (岡山県真庭市、集団の個体数：170 頭から 200 頭) では、1993 年から、サンディエゴ野生動物公園のゴリラ集団 (アメリカ・カリフォルニア州、8 頭から 13 頭) では、1996 年から長期継続研究が実施されている。本研究計画期間の 2008 年から 2012 年の 5 年間に於いても、これまでの行動観察を継続し、集団の中で暮らすニホンザルとゴリラのすべてのおとなを対象として、一頭一頭についての「生涯発達」を「行動」で定量的に描き出す。さらに、霊長類以外の大型哺乳類の行動研究も追加し、霊長類の特徴をより明瞭に把握することを目指す。

## 2. 研究の進捗状況

勝山ニホンザル集団においては、すべてのおとなメス、おとなオスの親和的交渉 (主に、毛づくろい)、敵対的交渉を記録し続けており、各個体の親和的パートナーの長期的な安定性、さらにはパートナーの交換、あるいは、パートナーの死亡等による喪失時の反応などを記録し続けるのに成功している。また、2003 年から蓄積されたデータの解析も進みつつある。ニホンザルの順位関係は血縁に強く依存し、娘は母の順位を継承することがよく知られているが、非血縁個体間の親和的パートナーも母から娘に継承されていることが明らかになった。特に、母の死亡後に、その娘は母のそれまでの親和的パートナーである非血縁メスとの関係性が増加した。

ゴリラ集団においては、近接関係のデータを昼間の屋外と総長の居室でのデータを収

集し続けており、一部のデータ解析も進みつつある。その結果、ゴリラにおいても、親和関係の長期安定傾向が確認されつつある。また、メスゴリラが赤ん坊を持つかどうか、メス関係、オスとの関係において大きな影響を及ぼすことが、従来の報告で指摘されているが、今回のデータでは、必ずしも一致しない傾向が見出された。さらに、オスの未成年体が成長とともに、おとなオスとの関係が敵対的になるプロセスも定量的に示すことができた。

さらに、霊長類の比較のために、動物園で飼育されているクロサイの行動研究を実施している。特に、クロサイの母子関係の密着性が、ニホンザルやゴリラに比べて、際だって強いことが明らかになりつつある。

## 3. 現在までの達成度

②概ね順調に進展している。

予定通り、ニホンザル集団とゴリラ行動データを収集し続けており、また、その分析も進んでいる。さらに、これらの種と、比較のために、クロサイの行動研究も進めている。従って、ほぼ順調に研究計画は実行されていると判断できる。

## 4. 今後の研究の推進方策

予定通りの計画を進める。

## 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕 (計 9 件)

①Onishi, K. M. Nakamichi. Maternal infant monitoring in a free-ranging group of

Japanese macaques (*Macaca fuscata*). *International Journal of Primatology* 32, 209-222, 2011. 有

②大西賢治・山田一憲・中道正之 ニホンザルによるムササビへの攻撃反応. *霊長類研究*, 26, 35-49. 2010. 有

③Nakamichi, M., K. Onishi, K. Yamada. Old grandmothers provide essential care to their young granddaughters in a free-ranging group of Japanese monkeys (*Macaca fuscata*). *Primates*, 51: 171-174 2010. 有

④ Turner, S. E., L. M. Fedigan, M. Nakamichi, H. D. Matthews, K. McKenna, H. Nobuhara, T. Nobuhara, K. Shimizu. Birth in free-ranging *Macaca fuscata*. *International Journal of Primatology*, 31, 15-37, 2010, 有

⑤Nakamichi, M., & K. Yamada. Distribution of dorsal carriage among simians. *Primates* 50, 153-168, 2009, 有.

[学会発表] (計18件)

①中道正之、抱っことおんぶ ～ゴリラの子育てからわかること～、第16回日本保育園保健学会、2010年10月31日、大阪大学

②Nakamichi, M. Grooming Interactions between Adult Females in a Free-ranging Group of Japanese Macaques for Four Consecutive Years. The 23rd Congress of the International Primatological Society, September 16, 2010, Kyoto University

③Onishi K. & Nakamichi M. Maternal visual monitoring in Japanese macaques: Allocation of maternal investment in infant protection. The 23rd Congress of the International Primatological Society, 16 September, 2010, Kyoto University,

④中道正之・山田一憲 霊長類における子どもの中での運搬 第24回日本霊長類学会大会、2008年7月6日、明治学院大学

[図書] (計1件)

N. Nakagawa, M. Nakamichi, H. Sugiura (eds.), Springer, *The Japanese macaques*, 2010, 402.